

施策1

人を育てる人を活かす

心豊かな人材の育成

学校教育、幼児教育の充実

少子高齢化が進む中で学校統合に関する意見が出されております。今おかれている状況では、中学校は別として、小学校4校体制の見直しも必要となってきたものと感じております。

また、学校の自主性に基づく特色ある学校づくりを推進するとともに、地域と連携した開かれた学校づく

りに努めてまいります。

社会教育の充実、地域のリーダーの育成

本村の産業や保健、医療、福祉などの各分野を担う人づくりを重要課題ととらえ、地域づくりを担う意欲と実行力のある人材の育成に努めてまいります。

また、生涯学習事業の拠点施設となつている、ふれあい交流センター、図書室、子育て支援室、自然休養村



ふれあい交流センター(旧役場庁舎)内に設置されている子育て支援室。そのほか図書室やパソコンルームなどがあり、有効利用されています

管理センターなどの利用も定着してきたことから、そのほか既存の公的施設の学校教育活動、社会教育活動への有効利用などについても引き続き取り組んでまいります。

芸術文化、スポーツ活動の振興

村民が気軽に芸術文化、

スポーツ活動を楽しみ、心豊かな人生を過ごし、心身ともに健康で文化的な生活を実現できるように芸術文化、スポーツに親しむ機会を提供することが大切です。また、これらの活動を通して都市住民との交流やグリーンツーリズム活動への展開を引き続き進めてまいります。

施策2

地域の資源を知恵と努力で活かす

自然の恵み最大活用

コミュニティ活動、交流活動、住民意識改革の推進

村民総参加の村おこしを目指し、地域との連携による自然体験活動や伝統文化伝承活動、世代間交流などを通じて村民の気持が一つになれるような住民意識の醸成に引き続き努めてまいります。

少子高齢化、後継者対策

少子高齢化が進む中で村の産業や社会活動を支える地域後継者の不足が深刻化しております。その原因の

一つである結婚対策が大きな課題となっております。若者の交流の場の設定、定住促進対策、Uターン者の受け入れ対策も急務となっております。高齢者の社会参加促進も含め、引き続き取り組んでまいります。

水産業の振興

本村の基幹産業である水産業をより安定的に発展させるため、漁港施設などの基盤整備を計画的に進めるとともに、豊かな水産資源を最大限に活用し、本村ブランドの育成と定着化に向



養殖コンブの未利用部分を活用して堆肥化も進められています

けた、商品開発などを推進し、市場開拓や流通に至る総合的な支援に努めたいと思います。

環境問題が検討されている中で、漁業系廃棄物対策につきましては、県や漁業協同組合など関係機関との協力、連携により再資源としての活用を図り、より効果的な活用策について、その試験研究支援に一層取り組んでまいります。

また、昆布等未利用部分などの活用による粉末昆布や、こんぶ饅頭などの消費拡大に取り組んでまいります。